

## 研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 5月

福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座 愛澤正人

### ■ 研究課題名

---

潰瘍性大腸炎患者における寛解導入後の Advanced therapy の維持効果に関する観察研究

### ■ 研究期間

---

2026年5月 ～ 2028年3月

### ■ 研究の目的・意義

---

炎症性腸疾患に対する治療法は飛躍的に進歩し、多様化しています。特に組織中のサイトカインや細胞の接着因子に関わる薬剤（生物学的製剤）、細胞内のシグナル伝達に関わる薬剤（JAK 阻害剤）など多くの先進的な薬剤（Advanced therapy）が登場し、臨床試験でその有効性が示されています。中等症以上の潰瘍性大腸炎に対して、主にステロイドで寛解導入療法を行うことが一般的ですが、ステロイド抵抗例や重症度が高い症例ではタクロリムスでの寛解導入療法を行う場合があります。当院では、ステロイド又はタクロリムスによる寛解導入後の維持療法において、生物学的製剤や JAK 阻害剤等の Advanced therapy を使用し、寛解が維持される患者様を比較的多く経験しています。この研究では、Advanced therapy による維持療法が導入時の併用薬剤によりその維持率に及ぼす影響を明らかにする事を目的としています。

### ■ 研究対象となる方

---

2013年5月から2026年2月までの期間に、会津医療センター附属病院にて、潰瘍性大腸炎の増悪のために、ステロイド、又はタクロリムスで寛解導入を行い Advanced therapy で維持療法を行っている患者さんが対象となります。

### ■ 研究の方法

---

対象となる方の診療情報からステロイド、タクロリムス導入前、Advanced therapy 導入前における臨床的重症度、内視鏡的重症度の推移を調査し、その後の Advanced therapy の継続率に関して

会津医療センター消化器内科学講座において総合的な解析を行います。

### ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年6月1日

### ■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座であり、研究責任者は会津医療センター消化器内科学講座 愛澤正人です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座で利用し解析を行います。

### ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他施設に提供しません。

### ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

#### 問い合わせ先

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田2-1-2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座 担当：愛澤正人

電話：0242-75-2100 FAX：0242-75-2568

e-mail：aizawa-m@fmu.ac.jp